

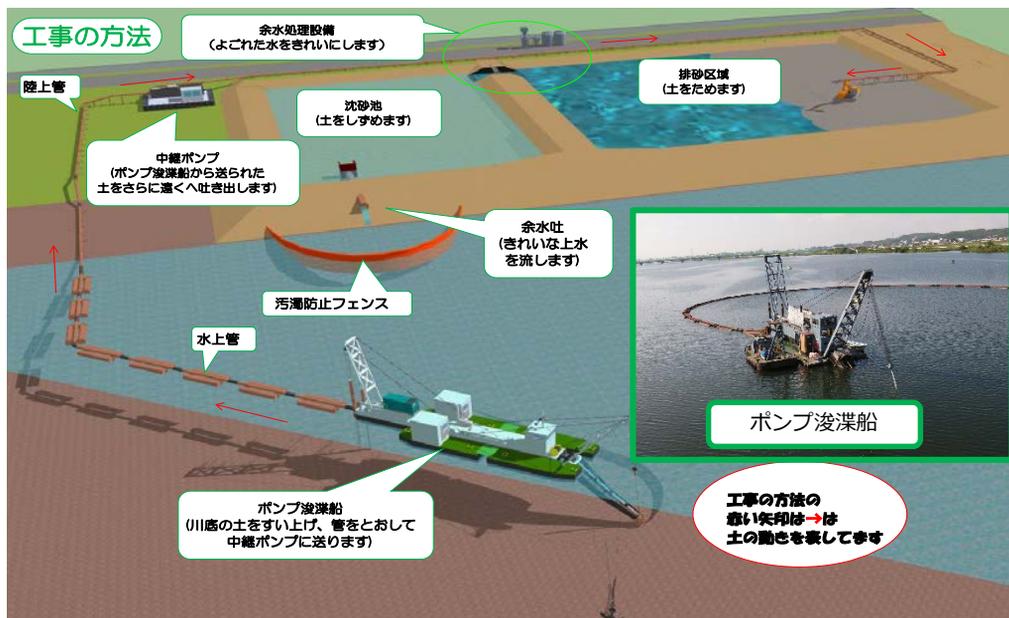


鈴木 崇史
2011年入社

西日本で橋脚の現場を中心に土木工事に携わり、7年目に中部支店に転勤になりました。今後も、社会のためにいいものを作り続けていきたいと思っています。

◇工事概要

洪水時の川の水位を下げるため、川底に溜まった土砂を取り除く工事です。



ポンプ浚渫船

工事の方法の赤い矢印は→は土の回転を表しています



うちの現場の仮設トイレです
現場のトイレの進化はすごいです



施工状況をシュミレーションするためのVR体験
どんどん新しいことにも取り組んでいます

・建設業を選んだ理由

私は、小さい時から物を作ることが好きで、ゼネコンという言葉を知る前から、公園や道路など、大きいものを作りたいという憧れを持っていました。大学に入る際にもその憧れは消えず、土木学科を選択しました。

初めて担当した工事で橋脚（橋を支える柱）が完成した時はまさに感動でした。

・現場での役割

現場では安全・工程・品質など様々なことを把握し、協力業者や作業員さんに指示を送ります。また、発注者との打合せや近隣工事業者との調整なども重要な仕事です。現場をスムーズに動かすために考えないといけないことは多いですが、自分の思い通りに現場がうまく進むと、とても気持ちがいいです。

・未来をつくる若手の皆様へ

私たちが働いている建設業界というのは、人の生活の基盤となる道路、河川、港湾、鉄道、空港、上下水道などを作り、そして守ることです。何十年も自分の作ったモノが大勢の人を支えているなんて仕事、他にないと思いませんか？